

すずらん通信

Vol.44
令和4年
4月5日
発行

プラス・パス始動式

プラス・パスとは、八王子にある島田療育センターの小沢先生が立ち上げた、不登校支援をしている団体を繋ぐネットワークです。

当日、オンラインで100名近くの方が参加されました。そんな中、ご参加された皆さんへ鈴蘭学園の紹介を10分程させて頂きました。オンラインでしたが実際に100名の方を前にして話すのと同じくらい緊張しました。この緊張感は、鈴蘭学園設立から15年経っても変わりませんね。トホホ・・・。

(下記サイト「お知らせ」にある「プラス・パス設立イベントの公開」より動画をご覧ください。)

<https://www.pluspath.foodbank8.tokyo/>

(中村 鳴美)

中央中学校卒業式

3月9日、寒々とした日ではありましたが、天気は快晴でした。中村は、学校運営協議会来賓として相模原市立中央中学校の卒業式に出席いたしました。昨年は感染症の影響で、卒業式は保護者のみ(1家庭1名)の参加だけとなってしまったため来賓はなしでした。今年度もまん延防止等重点措置中だったので、どうなるかと思っていましたが、無事に来賓の参加OKとなりました。たまたま、この中学校から鈴蘭学園に通っている子どもがおり、その子の卒業という場面での参加でした。中村のテンションはマックスとなり、この卒業式に参加した子どもが入場して顔を見た瞬間、涙がウルウル。その後は、ご想像にお任せします。

本当に、卒業式に出席できて良かったね。おめでとうございます。いつまでも、いつまでも影ながら応援してますからね！

(中村 鳴美)

親の会

3月13日、相模大野にあるユニコムプラザで2年越しとなる親の会を開催しました。当日は12名の保護者の方の参加となり、一人持ち時間7分程度で、鈴蘭学園に入った時の親子の心情と、現在の心情とを話していただきました。皆さん鈴蘭学園に入園した時は、不安と焦りに加え「え～、うちの子が不登校!？」と言うような叫びで一杯でしたが、鈴蘭学園に自分のペースで通うようになり、不安や焦りが軽減される中で「不登校でも全然大丈夫じゃん!」と親も子も前向きな自信がついてきたと時間いっぱいまで話されました。それを真剣に聞いている他の保護者の方の眼差しは、明るい未来へと輝いているように見えました。

沢山の方にご出席いただき、ありがとうございます。感染症の状況を見つつ、次年度も開催したいと思います。

(中村 鳴美)

卒園お祝い

今年度も感染症対策のため卒園パーティーは開けず、お祝いのピザセットを黙食しながらの卒園お祝いとなりました。9名の卒園生の皆さん、おめでとうございます。これからも色々な事がありますが、つらい時は中村の顔を思い出して下さい。笑顔が自然と出てきますよ。

(中村 鳴美)



まだまだ油断できませんが...

前年度も新型コロナによって、行事等が少なくなっていました。今年度は、十分な感染対策の下に積

極的に活動したいと思っておりますが、まだまだ難しい局面が続くと思います。「無理のないように」が、鈴蘭学園のモットーなので、子どもの安全第一で進めたいと思っています。今年度もスタッフ一同、頑張っ
てやっていきたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましては変わらぬご支援・ご協力の程、よろしくお願い
いたします。(中村 鳴美)



リリーベル活動報告

鈴蘭学園及びリリーベルをご利用の皆様、進級・進学・卒業おめでとうございます。皆様の新しい生活によき出会いと学びある幸多き日々であることを願っております。

2月3日は節分ということで、豆まきにちなんで鬼の的を子どもたちに作ってもらい、的あてゲームをしました。クオリティの高い鬼にみんな興味津々で、的あてゲームは思った以上に好評でした。鬼の的を作ってくれた皆さん、ありがとうございました。

まん延防止等重点処置が続いたため、公園での外活動が多くなりました。その影響もあってか、現在ドッチビーブームが到来しております。2時間の公園での活動ほとんどをドッチビーに充てる日もあり、なかなか白熱しております。中にはフリスビーの投げ方を見直し、よりよく投げようと研究や練習をしている子もいます。日を追うごとにみんなどんどんレベルが上がっていき、ドッチビーをより良く楽しんでいます。興味関心が引き起こす成長のすごさを改めて実感した日々でした。

2月中旬、みんなで富士見台公園に行きました。傾斜のある草むらに段ボールで作ったオリジナルのソリを持っていき、ソリ滑りを楽しみました。最初はうまく滑れなかったのですが、回数を重ねるとコツを掴んだのかうまく滑れるようになっていました。一人が滑れるようになるとみんな真似したり、コツを聞いたりして滑れるようになる人が増えていきました。こうして「楽しい」や「できる」を共有していく仲間がいることの素晴らしさを見られた光景でした。



3月後半に進級・進学・卒業を記念して、上大島キャンプ場にて進級・進学・卒業パーティーを実施しました。河原を眺めながら皆でお昼ご飯を食べ、散歩や河原で水切りなどのアウトドア活動をしました。風が気持ちよく吹く、よく晴れた日でした。お祝いを記念してみんなでビンゴ大会をしました。ビンゴのマスが「開く」、「開かない」に皆一喜一憂し、ビンゴができたときはみなでお祝いするなど、とても盛り上がりました。



こうして今のメンバーで集まり何かをするのも最後となります。振り返るとあつという間ではありましたがとても楽しい1年間でした。改めて皆様、進級・進学・卒業おめでとうございます。

そして楽しい日々をありがとうございました。

(佐野 拓哉)

湧きたつ不安に寄り添いながら

新型コロナウイルスが世界に現れてから3年が経ちました。学校は様々な方策を取りながら子どもたちの学ぶ権利を守っていますが、一方でその方策に振り回され疲れてしまう子どもたちもいます。加えて、最近では国際情勢や生活必需品の値上げなど、テレビを付ければ心を揺さぶるような報道が絶えません。大人と違い詳しい事情を知らない子どもたちは、そのような情報に形を取らぬ漠然とした不安を覚える事でしょう。私たち支援者の仕事は子どもの権利を守ることですが、その第一歩はこのような心の声を聞き取ることです。常にこちらから心を開き、いつでも安心して不安をぶつけられるよう(？)、物心両面で準備を整えていきたいと、春になり改めて考えています。

(菅原 雅史)

中村のとっても嬉しかった話

今年もまた、この時期がやってきました。嬉しいのと悲しいのと入り交じった感情の時期です。ある時、ふと周りを見渡すと、昨年と同じ場所にすずらの花が咲いていました。今年もしっかりと沢山の花を咲かせている姿を見ると、入り交じった感情がどこへやら消え去り、未来へと羽ばたいていく子どもたちの姿の様に見えてきます。

「頑張ってください。いつまでもいつまでも応援してますからね！」

寄せ書きにこんな言葉を書きながら、涙が止まらない中村でした。

すずらの 可憐な花の 根の強さ

中村 嗚美



◆4月の予定◆

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29 春休み	30 春休み	31 春休み	1 開園日	2 面談・オンライン相談（予約）
3	4 開園日	5 開園日	6 開園日	7 開園日	8 開園日	9 電話相談 面談・オンライン相談（予約）
10	11 開園日	12 開園日	13 開園日	14 開園日	15 開園日	16 面談・オンライン相談（予約）
17	18 開園日	19 開園日 鈴蘭学園 15周年！	20 開園日	21 開園日	22 開園日	23 電話相談 面談・オンライン相談（予約）
24	25 開園日	26 開園日	27 開園日	28 開園日	29 昭和の日	30 面談・オンライン相談（予約）

お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL：042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。